

セブン-イレブン・ジャパン、入社식을東京ビッグサイトで初開催 2026年度 新入社員 109 名が入社

～セブン-イレブンの商品展示会を通じた“体感型”プログラムへと刷新～



株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：阿久津 知洋）は、2026年度の入社式を実施し、新入社員 109 名を迎えましたので、お知らせいたします。

本年度は、セブン-イレブンの商品展示会「-SEVEN-ELEVEN Innovation Expo 2026-」開催にあわせることで新入社員が入社初日から当社のフランチャイズビジネスをはじめ、商品を通じ、会社としての重点的な施策をその場で「体感できる」プログラムへと刷新しております。入社式を「会社の未来を最初に見て学ぶ場」として位置づけ、未来へのビジョンを広げる機会といたしました。

当日は、経営層をはじめ社員一同で新入社員を迎える中、社長とゲスト、新入社員によるトークセッションなども実施し、新入社員が等身大の言葉で学びや決意を語れる場となりました。こうしたプログラムを通じ、対話を大切にする当社の姿勢へ理解を促すとともに、新たに企業文化の変革に向けて次世代を担う人財の育成に努めてまいります。

	大学・大学院 短大・専門卒		高校卒		合計	
	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度
セブン-イレブン・ジャパン	108	124	1	2	109	126

<ご参考>

■ 2026 年度 入社セレモニーの様子



■ 当社代表取締役社長 阿久津から、新入社員へのメッセージ（抜粋）

新入社員の皆さん、入社誠におめでとうございます。

本日、新たな仲間として皆さんをお迎えできることを、心から嬉しく思います。

私は 1994 年に新卒で当社に入社しましたが、この仕事を選んだ原点は、セブン-イレブンが身近にあり、「便利だ」「助かった」と感じた自身の経験から、「人に感謝される仕事がしたい」と思ったことです。加盟店オーナーの皆様、お取引先の皆様、そして街のお客様に支えられ、私たちの仕事は今も「街の人を快適に、美味しく、幸せにする」価値ある仕事だと確信しています。

セブン-イレブンも省人化を進めますが、私たちは「誰かの温かい場所になりますように」というコンセプトのもと、「接客」「会話」「ふれあい」を重視していきます。

また、私たちは企業文化の変革にも取り組んできました。素晴らしい挑戦や協力に感謝を伝える「称賛文化」、失敗を恐れず挑戦し、経験から学ぶ「エラー & ラーン文化」を大切にし、主体性を重視した風土づくりを進めています。

最後に、社会人生活を楽しむための3つのマインドセットをお伝えします。

- 1つ目は、人として正しく生きる（格好良く）
- 2つ目は、変化を求め、未来を創る（エラー＆ラーン）
- 3つ目は、「こうありたい」という信念を持つこと

皆さんの人生には、この先なにがあるでしょうか。楽しいことも、苦しいことも、大変なこともあると思います。それが人生であり、社会人生活も同様です。

そのような時にも、皆さんと一緒に成長していく会社でありたいと思っています。これから一緒に頑張っていきましょう。

<ご参考：セブン-イレブンの商品展示会>

セブン-イレブンの商品展示会「-SEVEN-ELEVEN Innovation Expo 2026-」は、加盟店オーナー様・従業員様・関係お取引先様を対象に、当社の経営方針や新商品、売場づくり提案など様々な取り組みをご紹介します機会として、毎年春に全国各地で開催しています。